

気仙沼高等学校 SGH プログラム フィールドワークの受入れを行いました(2017/7/14)

テーマ：スーパーグローバルハイスクール，防災教育
場所：東北大学災害科学国際研究所（宮城県仙台市）

7月14日（金）に，宮城県気仙沼高等学校から生徒2名が当研究所を訪れました。同校は，スーパーグローバルハイスクール（SGH）の指定校の一つになっています。SGHは，文部科学省の事業で，高等学校等におけるグローバル・リーダー育成に資する教育を通して，生徒の社会課題に対する関心と深い教養，コミュニケーション能力，問題解決力等の国際的素養を身に付け，国際的に活躍できるグローバル・リーダーの育成を図ることを目的としているものです。気仙沼高校は，「海を素材とするグローバルリテラシー育成～東日本大震災を乗り越える人材をめざして～」というプログラム名で，SGH事業に採択されています。今回は，SGHプログラムで実施されている「課題研究Ⅰ」の一環での訪問になります。「課題研究Ⅰ」は，同校生徒が個人で，任意のテーマについて研究・発表を行うものです。今回の訪問は，東北大学災害科学国際研究所のほか，宮城教育大学や東北工業大学などを訪れ，各個人のテーマの専門の研究者に，質問や疑問を出したり，情報収集を行う「フィールドワーク」として実施されたものになります。

当研究所では，佐藤翔助教（情報管理・社会連携部門）が，同プログラムのアドバイザーになっています。当日は，2名の生徒さんが訪れ，大学生顔負けのプレゼンテーションや質疑応答を行っていました。

テーマ①「気仙沼市の防災対策を効果的に海外にPRするには」

テーマ②「市民の防災に対する関心を高める方法」



佐藤翔助教との面談の様子

文責：佐藤翔輔（情報管理・社会連携部門）